

コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果について
(平成25年上半期)

1 調査の趣旨

近時、出会い系サイトに起因して犯罪被害に遭った児童数は減少傾向にあるが、他方、コミュニティサイトに起因して犯罪被害に遭った児童数は、平成25年上半期は598人で、前年同期と比べて89人、前年下半期(前期)と比べても31人増加している。よって、サイト事業者による自主的取組の更なる強化や保護者等に対するサイト利用に伴う危険性の周知啓発等の被害防止対策に役立てるため、前期の調査に引き続き、コミュニティサイトに起因する事犯の詳細を調査したものを。

2 調査の対象

平成25年上半期に検挙したコミュニティサイトに起因する児童被害の福祉事犯等859件(被疑者664人、被害児童598人)。

平成24年下半期712件(被疑者560人、被害児童567人)

3 調査の概要

(1) 被疑者の犯行動機等

犯行動機は、「児童との性交目的」等の児童との接触目的が9割以上(前期と同様)。(2頁・第2-1)

当該サイトを選んだ理由は、「多数の児童が登録」等の児童が目的に関連した理由が約7割(前期と同様)。(2頁・第2-2)

被疑者の約4割が、被害児童とサイトで知り合ってから、1週間以内に犯行に及んでいる(前期は3割以上)。(3頁・第2-4)

年齢、職業等プロフィールを詐称した事犯が約4割(前期は4割以上)。(6頁・第2-10)

(2) 被疑者のミニメール利用状況

サイト内のミニメールを利用した事犯が約4割(前期は5割以上)。(4頁・第2-6)

ミニメールから直接メールへ移行した事犯が、ミニメール利用事犯の8割以上(前期と同様)。(5頁・第2-7)

直接メールアドレス等の連絡方法として、ミニメールに記載した事犯が5割以上(前期と同様)。(5頁・第2-8)

(3) 被害児童のアクセス手段、指導状況及びフィルタリング加入状況

アクセス手段として携帯電話(スマートフォンを含む。)を使った事犯が9割以上(前期は約9割)。また、スマートフォンを利用して被害に遭った児童数は274人(前期は122人)と増加。(10頁・第3-5)

サイト利用について保護者から注意を受けていない被害児童が約6割(前期と同様)。(12頁・第3-9)

フィルタリング未加入の被害児童が9割以上(前期と同様)。(13頁・第3-11)

4 今後の対策

(1) サイト事業者(無料通話アプリ等提供事業者を含む。)の取組状況等に
応じた対策の継続

- ・ ミニメールの内容確認を始めとするサイト内監視体制の強化
- ・ サイト事業者等への実効性あるゾーニングの早期導入に向けた働きかけ

(2) 関係省庁、事業者及び関係団体等と連携した対策の推進

- ・ 更なるフィルタリングの普及徹底
- ・ 児童、保護者、学校関係者等に対する広報啓発と情報提供
- ・ 携帯電話事業者等への実効性あるゾーニングの更なる推進
- ・ E M A への情報提供によるサイトの厳格な認定監視等の継続

平成25年11月

コミュニティサイトに起因する
児童被害の事犯に係る調査結果
(平成25年上半期)

警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課

目 次

第1 調査の趣旨等	1
1 調査の趣旨	1
2 調査の対象	1
3 調査の方法	1
第2 被疑者に関する調査	2
1 犯行動機	2
2 当該サイトを選んだ理由	2
3 被害児童を選んだ理由	3
4 サイト上で被害児童と知り合ってから犯行に及ぶまでの日数	3
5 当該サイトへのアクセス手段	4
6 ミニメールの利用状況	4
7 ミニメールから直接メールへの移行状況	5
8 直接メールアドレス等の連絡方法	5
9 サイトにおけるの隠語の使用状況	6
10 プロフィールの詐称状況	6
11 詐称内容	7
12 年齢層	7
第3 被害児童に関する調査	8
1 当該サイトを利用した理由	8
2 当該サイトに対するイメージ	8
3 当該サイトの利用期間	9
4 被疑者と会った理由	9
5 当該サイトへのアクセス手段	10
6 使用携帯電話の名義	10
7 インターネットの利用経歴	11
8 プロフィールの詐称状況	11
9 保護者による指導状況	12
10 学校による指導状況	12
11 フィルタリングの加入状況	13
12 携帯電話の購入時の来店状況	13

第1 調査の趣旨等

1 調査の趣旨

近時、出会い系サイトに起因して犯罪被害に遭った児童数は減少傾向にあるが、他方、コミュニティサイトに起因して犯罪被害に遭った児童数は、平成25年上半期は598人で、前年同期と比べて89人、前年下半期（前期）と比べても31人増加している。よって、サイト事業者による自主的取組の更なる強化や保護者等に対するサイト利用に伴う危険性の周知啓発等の被害防止対策に役立てるため、前期の調査に引き続き、コミュニティサイトに起因する事犯の詳細を調査したものの。

2 調査の対象

平成25年上半期に検挙したコミュニティサイトに起因する児童被害の福祉事犯等859件（被疑者664人、被害児童598人）。

平成24年下半期712件（被疑者560人、被害児童567人）

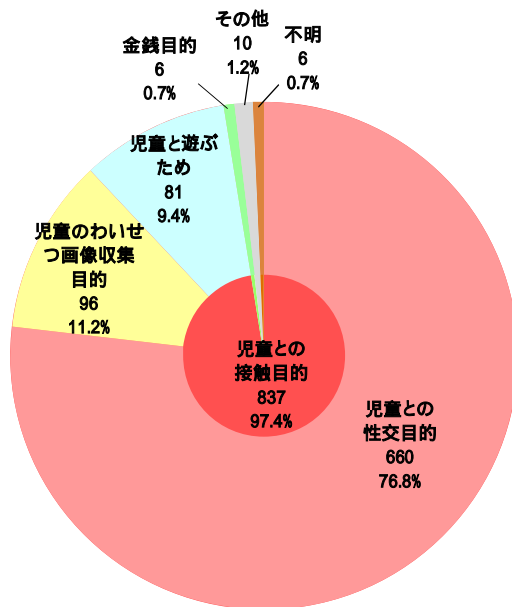
3 調査の方法

平成25年上半期に検挙した859件の捜査の過程で判明した事実を基に、調査項目ごとの集計を行い、原則として、調査項目に係る事実が判明した件数を集計したものの。

第2 被疑者に関する調査

1 犯行動機

(n = 859)

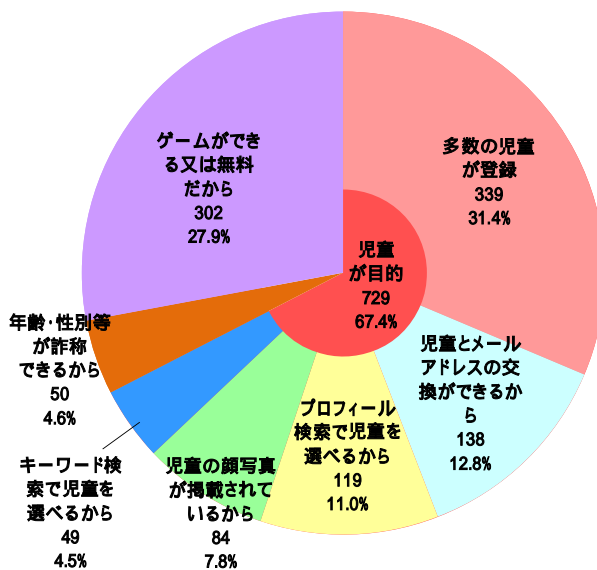


「児童との性交目的」等の児童との接触目的が9割以上を占める。

2 当該サイトを選んだ理由

(n = 1,081)

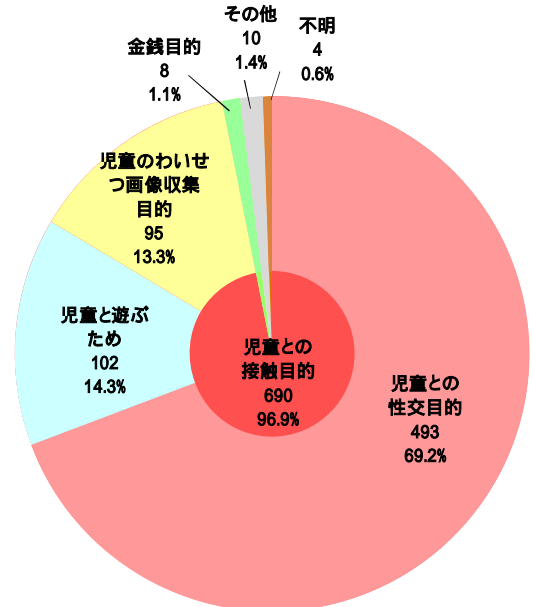
複数回答あり



「多数の児童が登録」、「児童とメールアドレスの交換ができるから」等の児童が目的に関連した理由が約7割を占める。

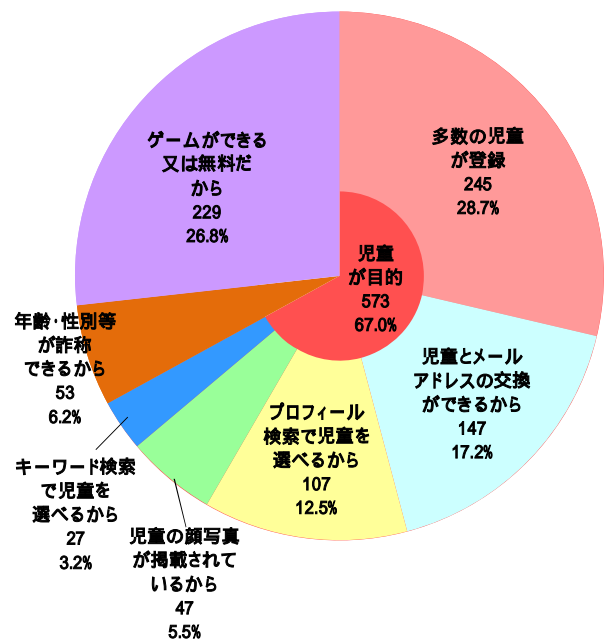
H24下半期(参考)

(n = 712)



(n = 855)

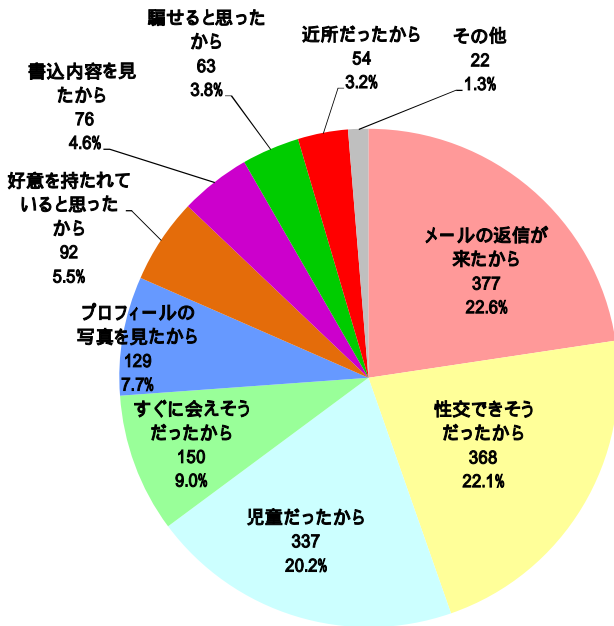
複数回答あり



H25上半期

3 被害児童を選んだ理由

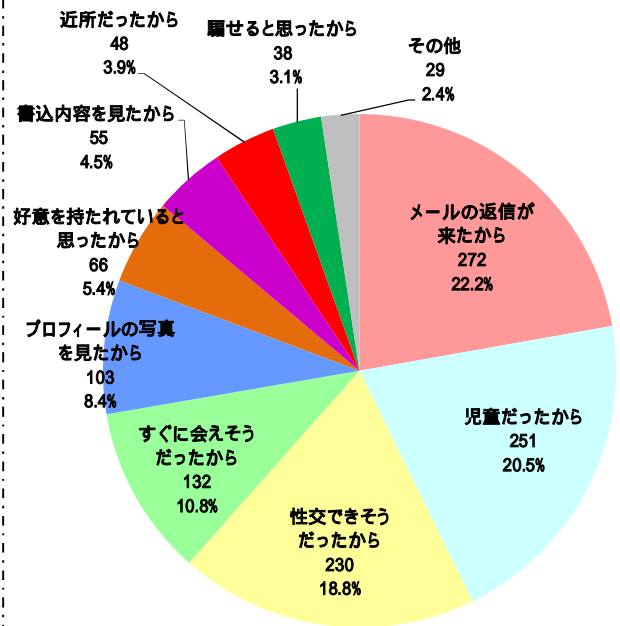
(n = 1,668) 複数回答あり



「性交できそうだったから」の割合が、前期と比較して増加している。

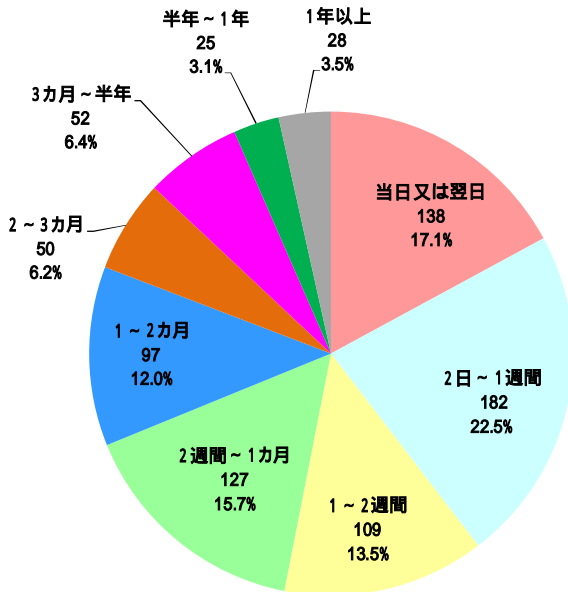
H24下半期(参考)

(n = 1,224) 複数回答あり



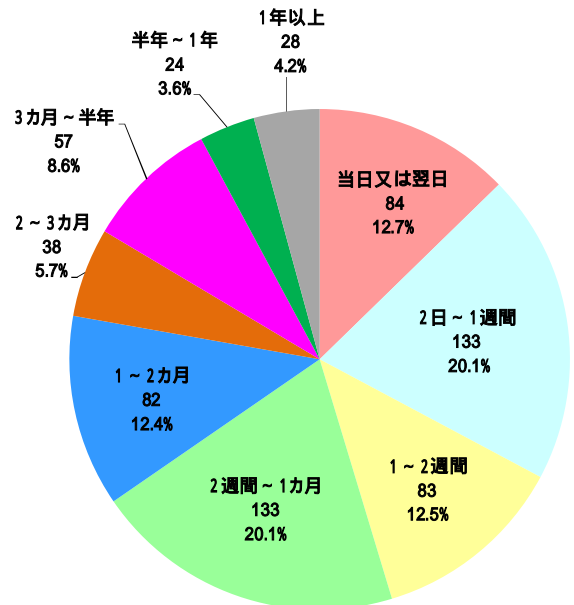
4 サイト上で被害児童と知り合ってから
犯行に及ぶまでの日数

(n = 808)



サイトで知り合ってから、1週間以内に犯行に及ぶ割合が約4割(39.6%)を占める。

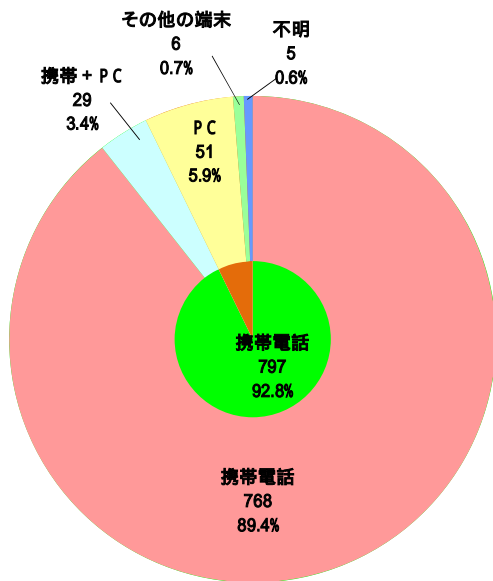
(n = 662)



H25上半期

5 当該サイトへのアクセス手段

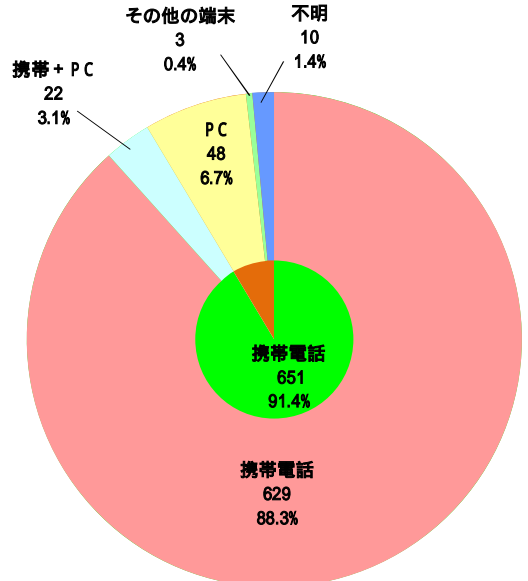
(n = 859)



携帯電話のうち、スマートフォンが476件(59.7%)
 ~ H24下半期(230件)の約2.1倍に増加 ~

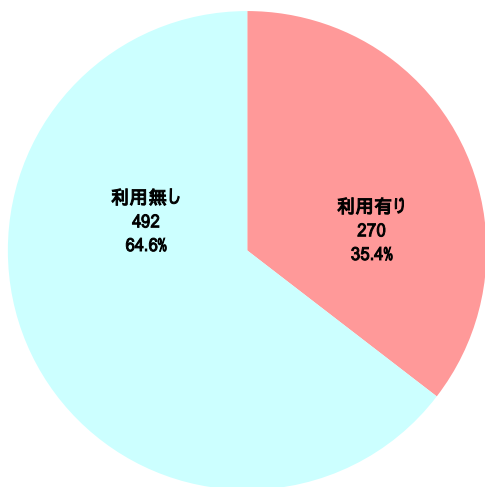
H24下半期(参考)

(n = 712)



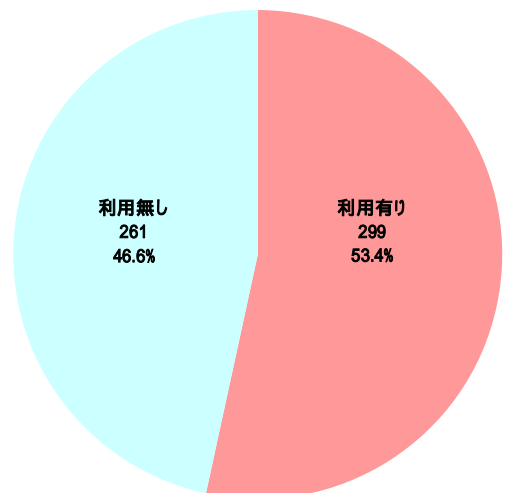
6 ミニメールの利用状況

(n = 762)



前期と比較してミニメールの利用割合が減少している。

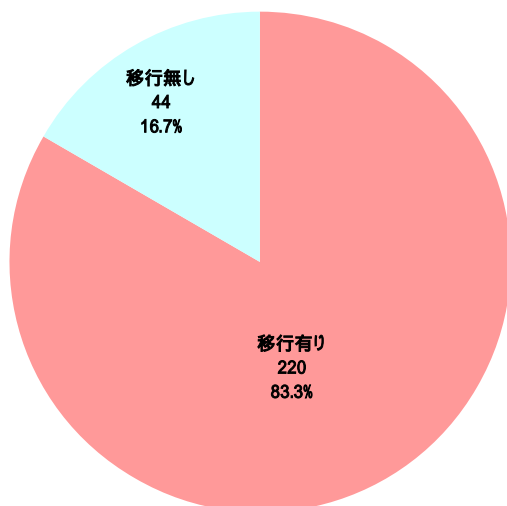
(n = 560)



H25上半期

7 ミニメールから直接メールへの移行状況

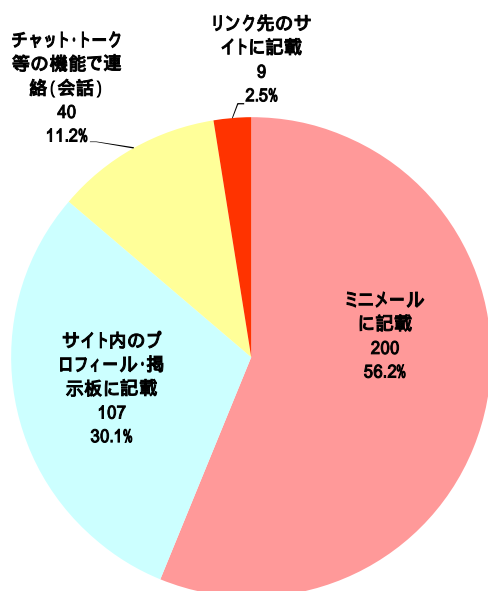
(n = 264)



ミニメールから直接メールへ移行した割合が、ミニメール利用事犯の8割以上を占める。

8 直接メールアドレス等の連絡方法

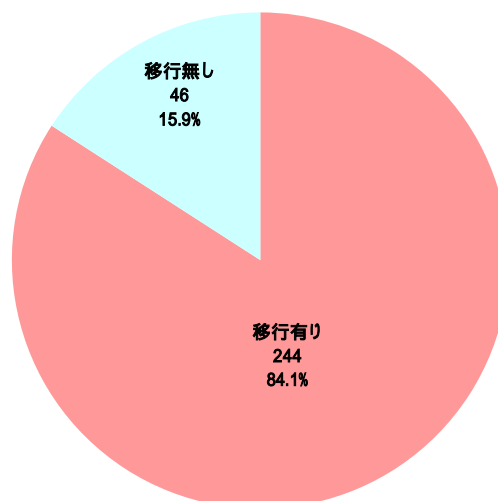
(n = 356)



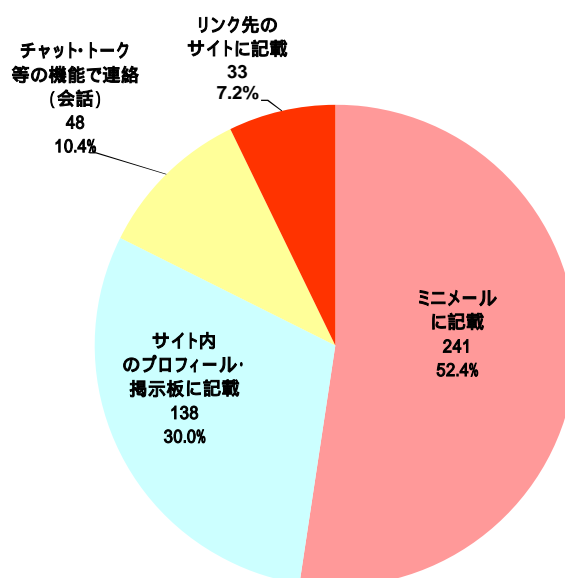
直接メールアドレス等の連絡方法として、サイトにおける「チャット・トーク」等の機能で連絡をする事犯の割合が、前期と比較して増加している。

H24下半期(参考)

(n = 290)



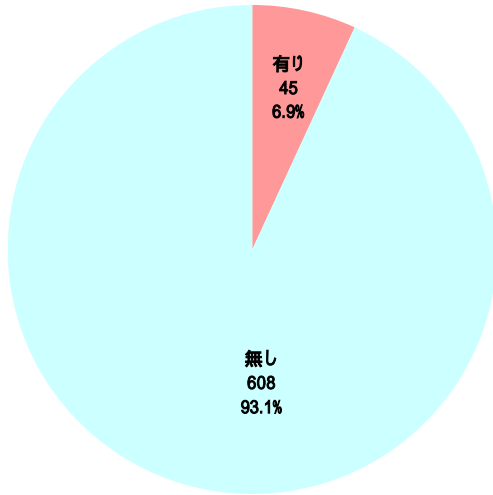
(n = 460)



H25上半期

9 サイトにおける隠語の使用状況

(n = 653)

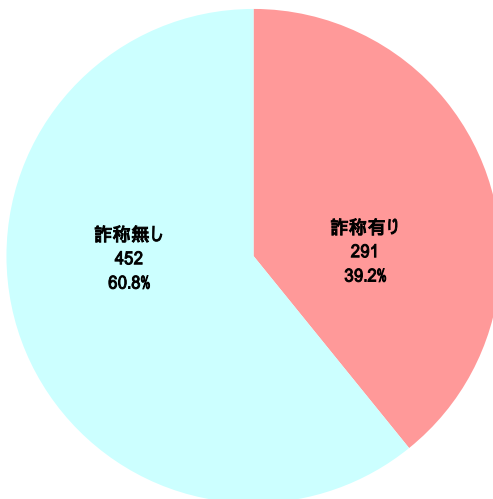


(隠語等の例示)

- ・ 番号(数字)をひらがな(090 わらわ)や変形した文字で記載
- ・ 略語(JC 女子中学生、JK 女子高生、諭吉・莓 1.5万円など)
- ・ 通信キャリア名(docomo ~キノコ、softbank 犬、au 英雄)
- ・ アドレスを分割(1文字ずつ)して記載し、複数回やりとりを行う
- ・ アドレスをブログ等の写真などに貼り付ける

10 プロフィールの詐称状況

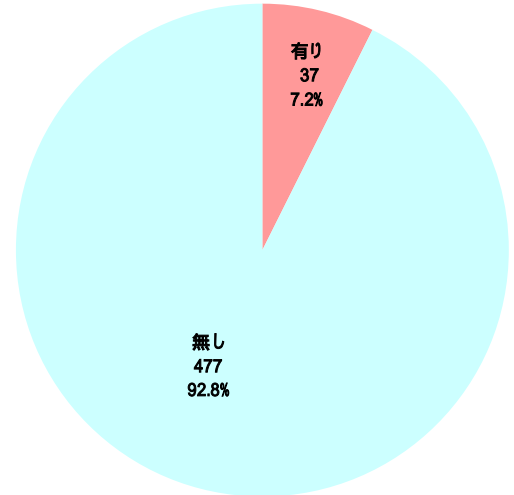
(n = 743)



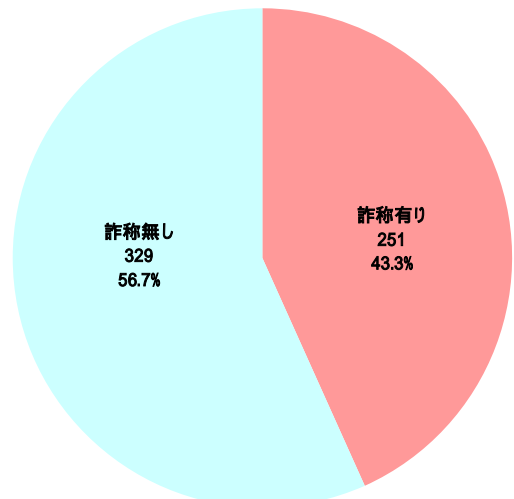
年齢、職業等プロフィールを詐称した割合が約4割を占める。

H24下半期(参考)

(n = 514)



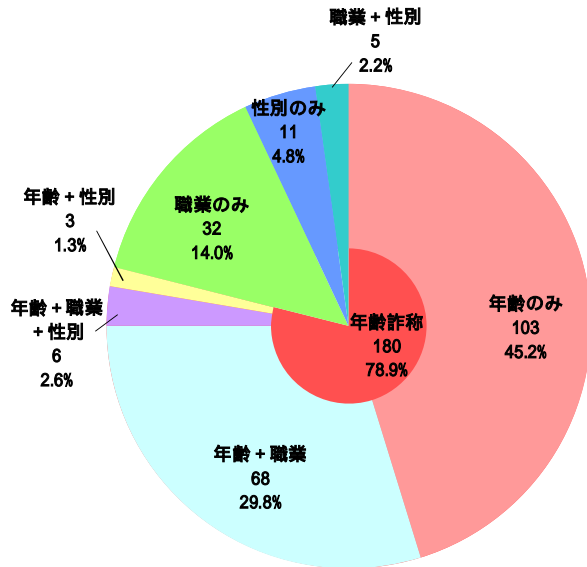
(n = 580)



H25上半期

11 詐称内容

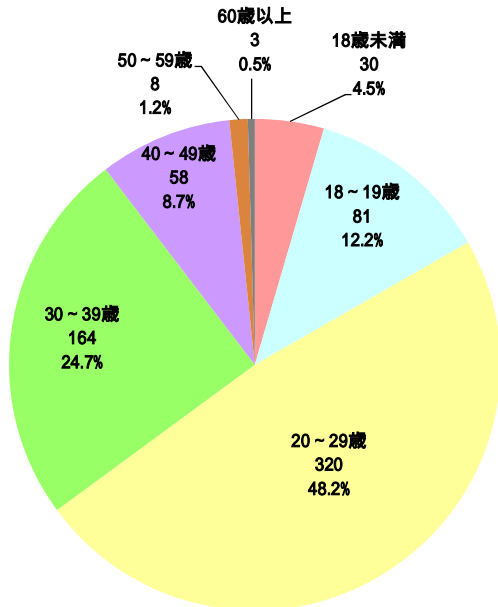
(n = 228)



プロフィールを詐称した事犯のうち、年齢を詐称した割合が約8割を占める。

12 年齢層

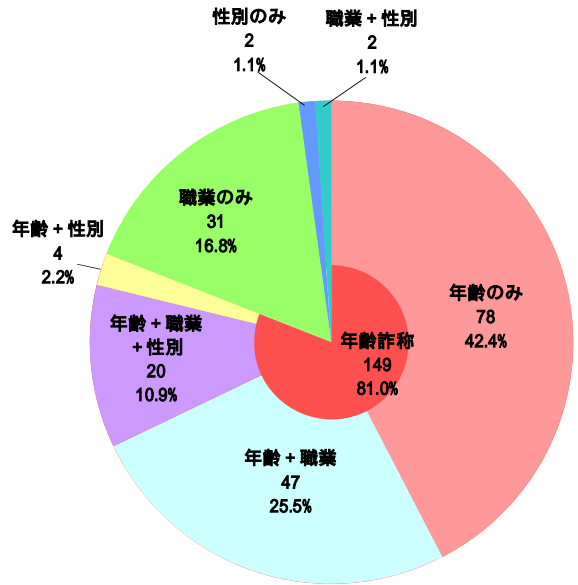
(n = 664)



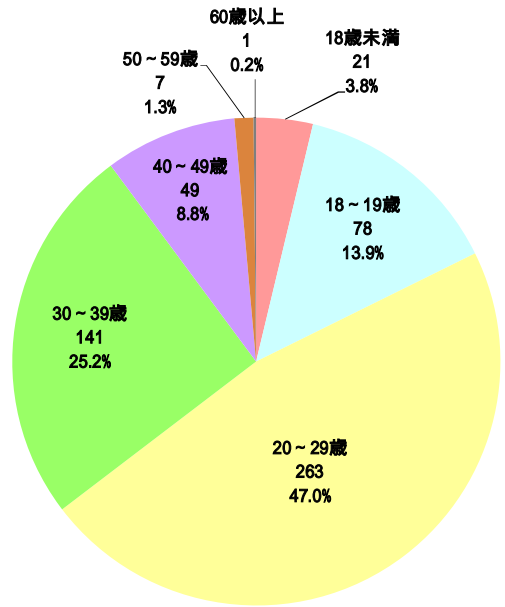
20歳代の割合が約5割を占める。

H24下半期(参考)

(n = 184)



(n = 560)

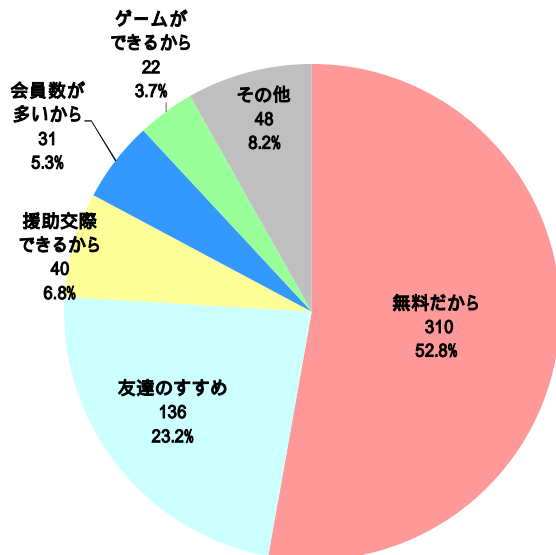


第3 被害児童に関する調査

H25上半期

1 当該サイトを利用した理由

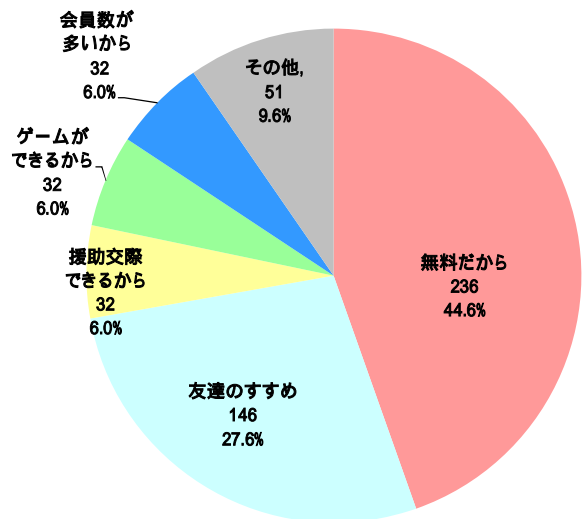
(n = 587) 複数回答あり



「無料だから」という理由が5割以上を占める。

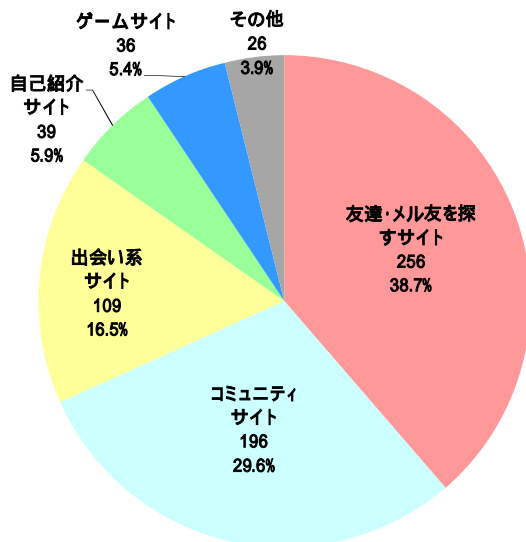
H24下半期(参考)

(n = 529) 複数回答あり



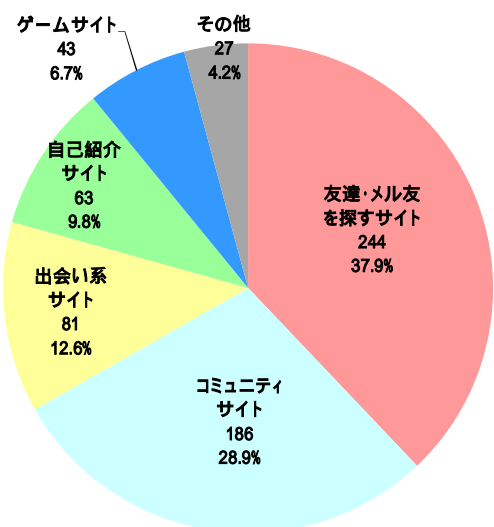
2 当該サイトに対するイメージ

(n = 662) 複数回答あり



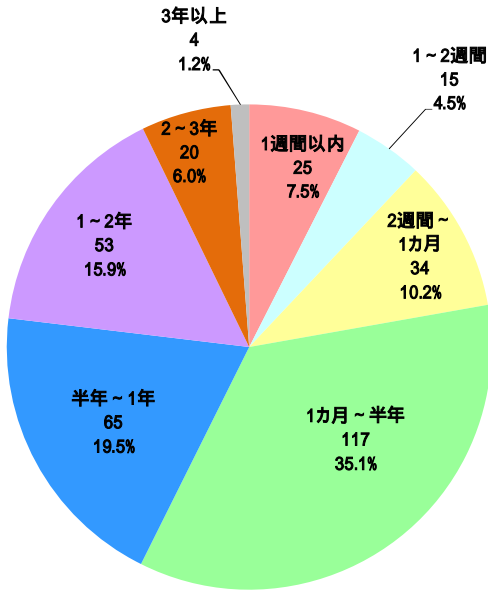
「出会い系サイト」というイメージを持って利用した割合が、約2割を占める。

(n = 644) 複数回答あり



H25上半期

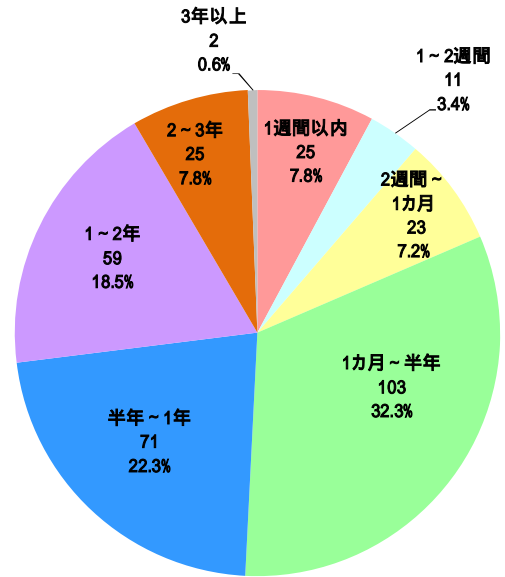
3 当該サイトの利用期間 (n = 333)



利用期間が半年以内の割合が、5割以上(57.3%)を占める。

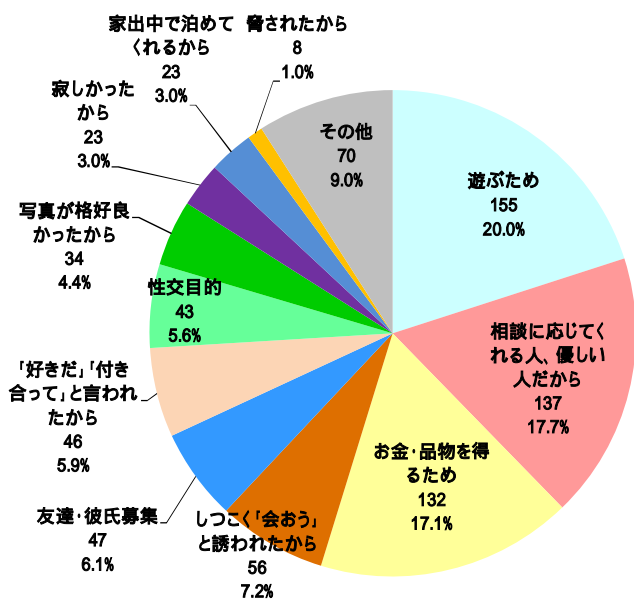
H24下半期(参考)

(n = 319)



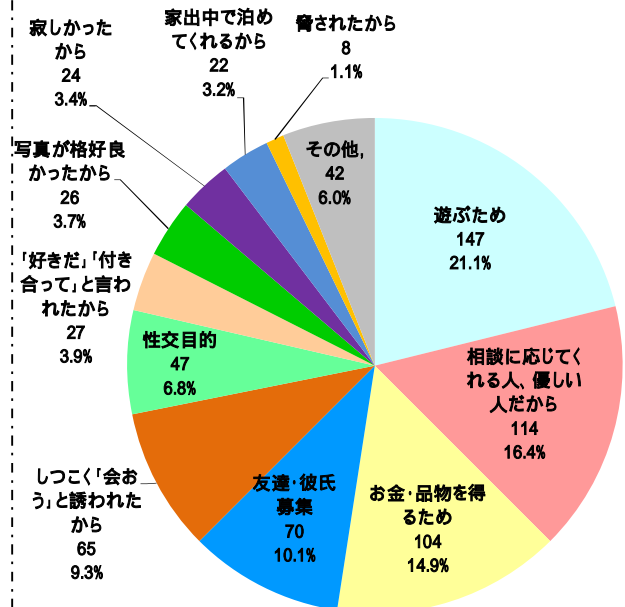
4 被疑者と会った理由 (n = 774) 複数回答あり

(n = 774) 複数回答あり



「遊ぶため」に被疑者と会った割合が2割を占める。

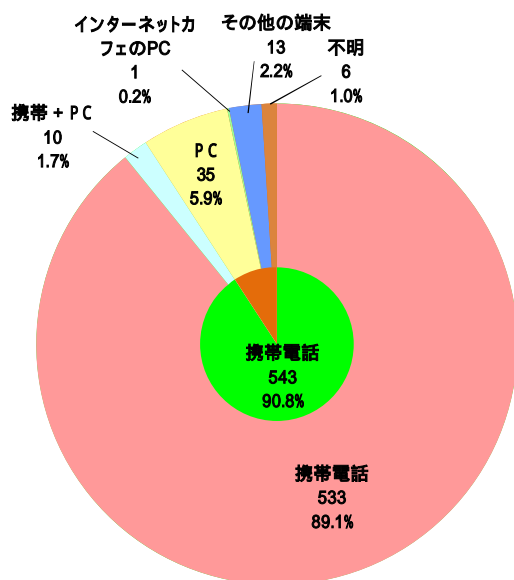
(n = 696) 複数回答あり



H25上半期

5 当該サイトへのアクセス手段

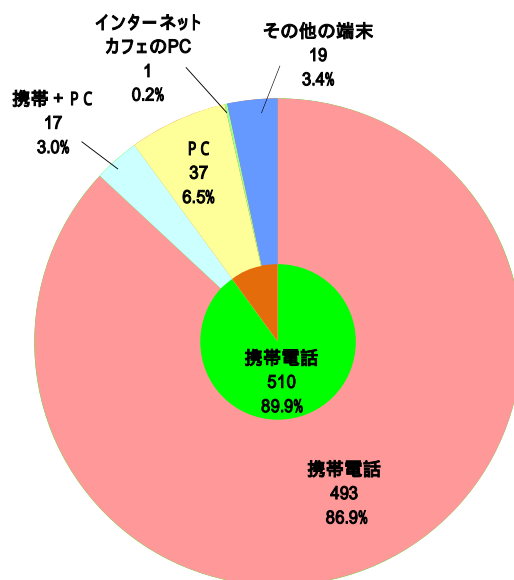
(n = 598)



携帯電話のうち、スマートフォンが274件(50.5%)
 ~ H24下半期(122件)の約2.2倍に増加 ~
 「その他の端末」は、携帯音楽プレーヤー、ゲーム機。

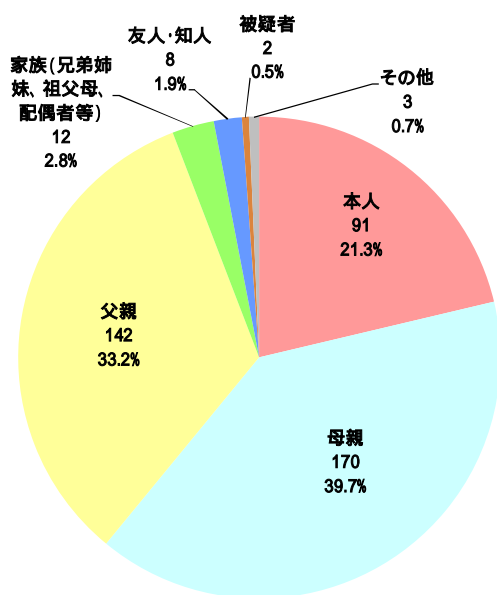
H24下半期(参考)

(n = 567)



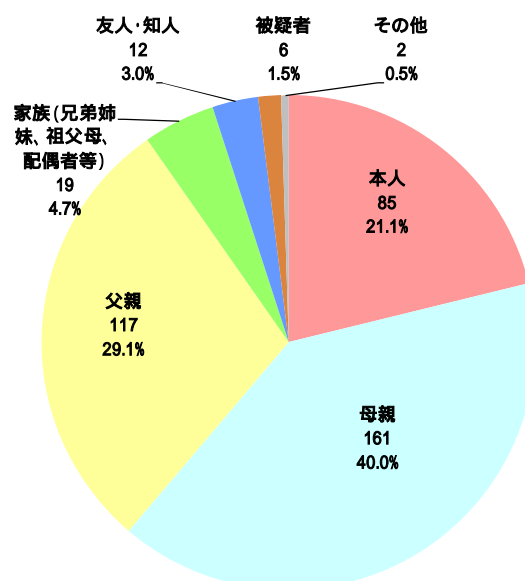
6 使用携帯電話の名義

(n = 428)



両親名義の割合が7割以上(72.9%)を占める。

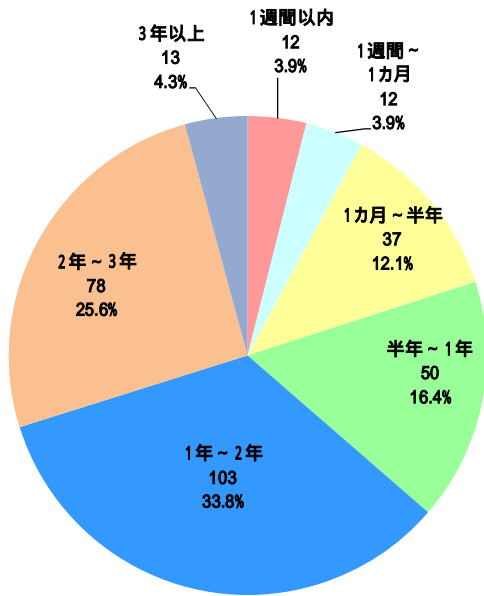
(n = 402)



H25上半期

7 インターネットの利用経歴

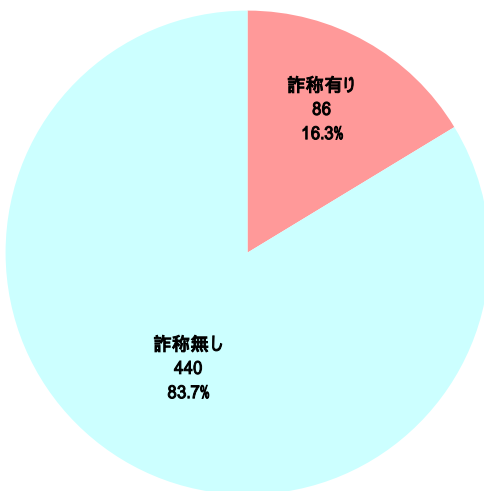
(n = 305)



利用履歴が1年から2年の割合が、3割以上を占める。

8 プロフィールの詐称状況

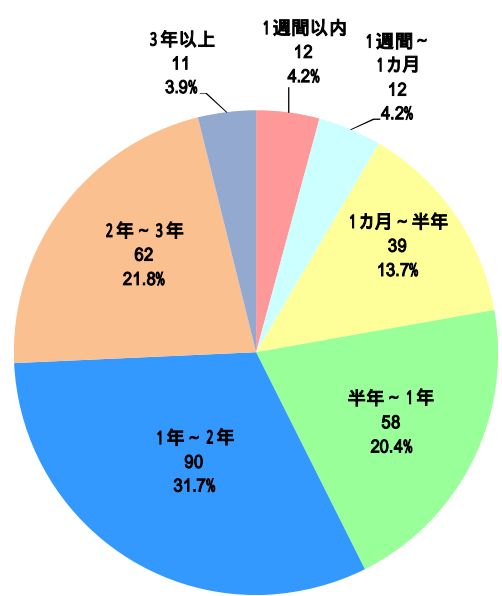
(n = 526)



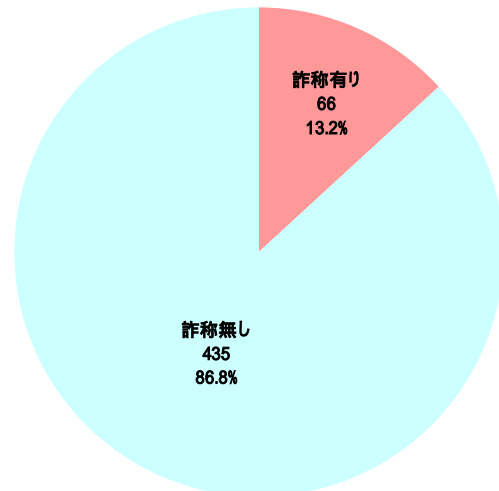
プロフィールを詐称した割合が約2割を占める。

H24下半期(参考)

(n = 284)



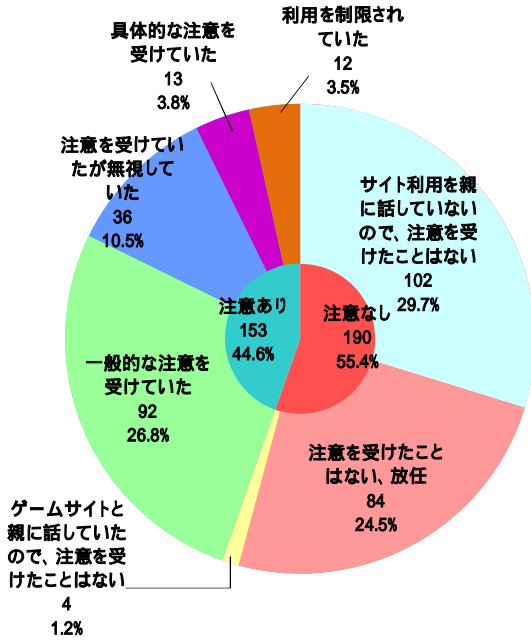
(n = 501)



H25上半期

9 保護者による指導状況

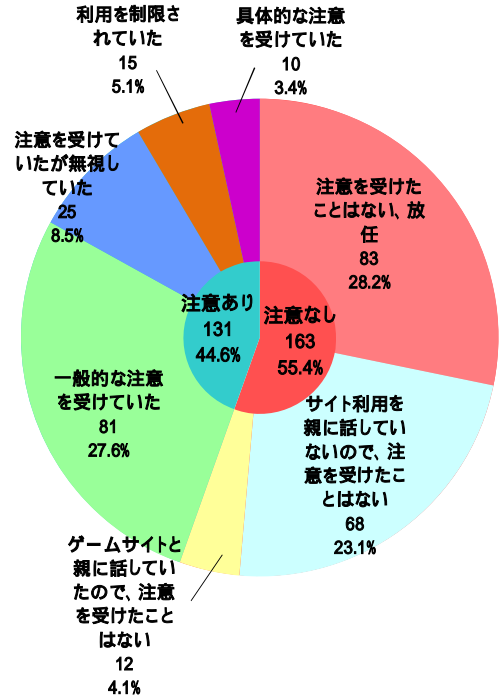
(n = 343)



保護者による注意を受けていなかった割合が約6割を占める。

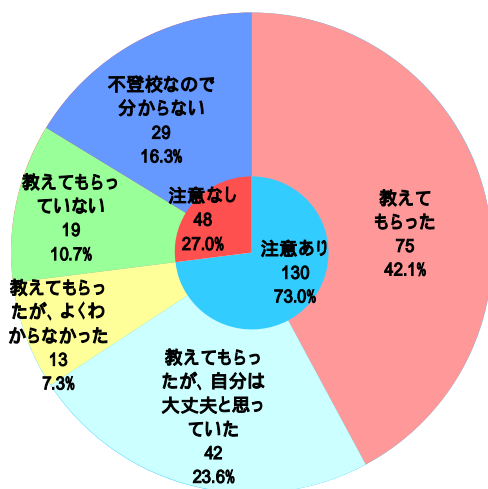
H24下半期(参考)

(n = 294)



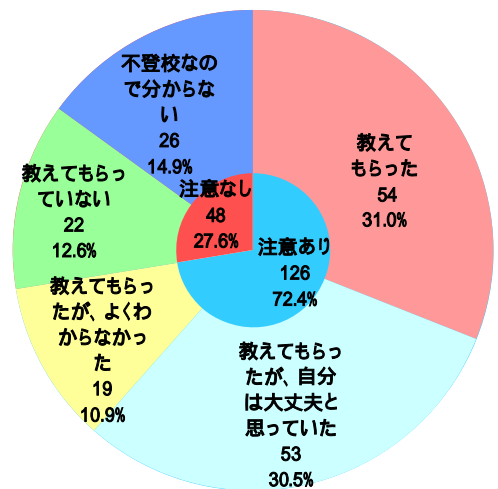
10 学校による指導状況

(n = 178)



学校において注意を受けていた割合が7割以上を占める。

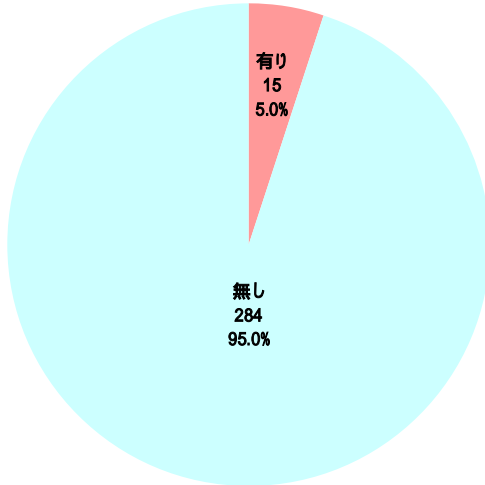
(n = 174)



H25上半期

11 フィルタリングの加入状況

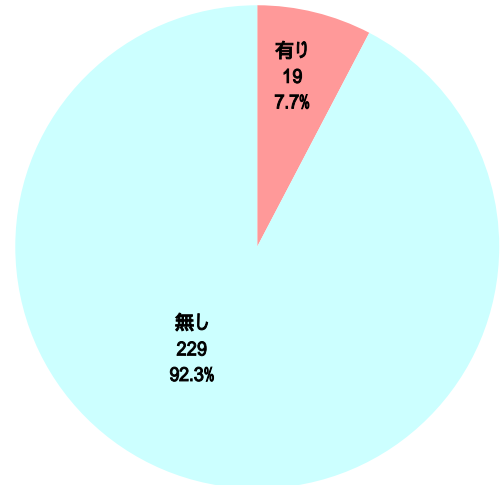
(n = 299)



フィルタリング未加入の割合が9割以上を占める。

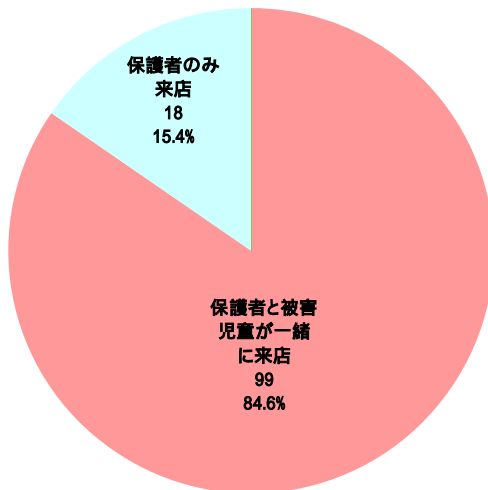
H24下半期(参考)

(n = 248)



12 携帯電話の購入時の来店状況

(n = 117)



保護者と一緒に来店した割合が8割以上を占める。

(n = 103)

